

第13回 松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピック

やさシティおもてなシティ推進会議

- 1 日 時 令和元年12月24日(火) 15時00分～
- 2 場 所 松戸市役所 新館5階 市民サロン
- 3 出席者 委員11名のうち9名出席
- 4 傍聴者 なし(傍聴希望者なし)
- 5 会議経過 (1) 開会 15:00
(2) 挨拶
傍聴確認(事務局より傍聴者なしと報告)
議事録署名確認(名簿順につき西機委員に依頼→了承)
資料確認(配布漏れなし)
(3) 報告
①事業概要について(令和元年7月以降)
②東京2020オリンピック・パラリンピック
聖火リレーについて
③ドミニカ共和国体操連盟事前視察について
④その他
(4) 閉会 16:45

6 議事概要

○長江会長

それでは、皆さん、こんにちは。暮れの大変お忙しい日程で会議が開かれます。本日の会議の円滑な運営につきまして、委員の皆様方、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、次第の2、議事の(1)事業概要につきまして、事務局より説明をよろしくお願いたします。

(事務局から事業概要の報告)

○長江会長

説明ありがとうございました。それでは、ただいま事務局よりご説明いただいたんですけれども、委員の皆様から、ご意見とかご質問等がございましたら、よろしくお願ひします。

尾崎委員から何かありますでしょうか。

○尾崎委員

後ほど出てきますので、そのときに。

○長江会長

西機委員のほうから、何かこのオリンピックまでについての松戸市の計画につきましても、何かご意見等ございますでしょうか。

○西機委員

この後の議事もですが、前も申したかもしれないですけれども、いろいろ活動されているのは、後になってリストをいただくんですけれども、この先どういうことが起こるのかというのが資料にもないので、そのあたりはまた後でご説明があるのか。その辺は、例えば学生が協力したりいろいろする際に、ちょっと先の機会みたいなものが、どういうことがあるのかというのを事前に知れると、準備もできたりするのかなと思って。

○長江会長

その点につきましては、いかがですか。

○事務局

このあと来年の聖火リレーのセレブレーションの松戸市のプログラムの企画内容についてご説明をするときに、大学の皆様のご協力をいただけないかといったものが議題に入っておりますのと、2月にパラスポーツの講演会を企画しております、そのようなお話もちょっとさせていただこうと思っております。

また、西機先生からは中長期的な視点で松戸市として宿題をいただいていると認識しております、今、検討を深めているところがございますので、それについてはまた別の機会に、今後のこのオリンピック終わった後の話というか、そういうところも研究しているところですので、それについてはお時間を頂戴したいと考えております。

○西機委員

ワールドカップの話題もありましたけれども、実際、大会が近づくとそれに一生懸命になって、事前にレガシーと言っていたのに、結局終わってから、予算のこともいろいろと絡んでくるんだと思うんですけど、せっかく盛り上がってもその後の作業が後手後手になったりするので、例えばゆかりのある方々とかをお呼びして、そういう方が活躍した後のこととか、ラグビーだったらパレードなんかもやったりしましたけれども、そういうある程度の予定みたいなものは、できるだけ準備されておいた方がいいのかなと。できないよりも、起こり得ることをもう少しリストアップしておいた方がいいのかなと思ひました。それによっては、学生たちももっとそういうことも含めて、準備、お手伝いとかに参加させていただいたりできるのかなと思ひます。

○長江会長

ありがとうございます。伊藤委員、いかがでしょうか。

○伊藤委員

今おっしゃった経過概要なんですけども、私もこれを見て、前回から今日までの結果ということで、こういうことをされているという、非常に見た目でもいろんな充実した活動をされているというのがよくわかるし、また、それがマスコミでも報道されていることで、非常にいいことだと思うんですけども、やっぱり私たちの目から見ると、例えばその後どういうことが予定されているか、今の予定ですから未定のものもあるとは思いますが、これから数カ月、大体どんなことがあるのかがわかるようなものを用意していただくと、これからの流れが非常にわかるので、これからこんなことが行われるんだな、こんなことはどうだろうか、ということいろいろ話にもなるので、そういうものをつくっていただくとありがたかったかなと思います。

だから、次回やられるときは、その後、実際のオリンピックまでの間にもう1回あるかもしれないから、もしそうであれば、実際のオリンピックまでの間に、事前キャンプがこういうふうに行われます、というような予定が入ると、非常にいい資料になるのかなと思います。

○事務局

貴重なご意見、ありがとうございます。今のご意見、取り入れていきたいと思っております。ありがとうございます。

○長江会長

岡本委員、何かございますか。

○岡本委員

特別にはないですけども、レスリングで松戸出身の須崎さんがこの前の大会で優勝したけど、まだあれはまだオリンピック出場確定じゃないんですよ。だから、そういう競技もいっぱいあると思うので、ぜひ頑張ってもらいたいですね。

○長江会長

ありがとうございます。薄葉委員から何かございますか。

○薄葉委員

聖火ランナーの選考について、県の担当課に話を聞いたら、非常に大変みたいですね。すべての市町村が聖火リレーをやるわけではないので、やれないところの気持ちも考えないといけない。ですから、この資料に書いてあるものも見てみますと、聖火リレー決定について1行しか書いていないんですけど、これは大変なことなんだという意味では、もちろん先のことも知りたいけれども、先を見通しながらやった結果、見事に聖火リレーを持ってきてくれた印象です。

○事務局

ありがとうございます。

○長江会長

ありがとうございます。須田委員からは。

○須田委員

特にないです。

○長江会長

それでは引き続きまして、(2)の東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーにつきまして、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(事務局から東京 2020 オリンピック・パラリンピック聖火リレーの報告)

○長江会長

ありがとうございます。ただいまの説明で、オリンピック並びにパラリンピックの聖火リレーについてご説明があったんですけども、セレブレーションを含めていろいろな企画案が出ておりますので、委員の皆様方からご意見をいただけたらと思います。

それでは、太下委員いかがでしょうか。

○太下委員

先ほども今まで取り組まれてきた事業を説明いただいて、今後の予定もいただいたわけです。私自身は文化政策をしておりますので、スポーツの祭典としては非常に重要だと思うんですけども、同時にオリンピックは文化の祭典でもありますので、ぜひセレブレーション以外でも、松戸市内で文化プログラムを実施いただければと思っております。松戸市は、それぞれの施設においていろいろな取り組みをされておりますので、そういった資産を生かして、世界につながるような企画がきっと実施できるんじゃないかと思っておりますので、それを期待しております。

○長江会長

ありがとうございます。西機委員でございますでしょうか。

○西機委員

またラグビーの話であれですけども、セレブレーションの時に松戸の歌を歌う。聖火リレーのときはそれでいいと思うんですけども、この後、ドミニカ共和国、ルーマニアを迎え入れるときに、ラグビーは今回、各国の国歌をキャンプ地で、市民の方々に覚えていただいて迎え入れるということが、選手の方に対してもそうですし、世界に発信、非常に特徴のある、また日本人だからできたんだと思うんです。ほかの国の方がほかの国の国歌を歌うって、余り私も想像できなかったのが、それをラグビーではやりましたので、1つやり方としては盛り上げ、それからその後につながる関係性で、例えば北九州は公開練習に1万5,000人が集まって、ウェールズの国家を歌って盛り上げて、それに対して、ウェールズのラグビー協会が、新聞広告に感謝をあらわす記事を出したりする。ただ、それも実は3年前から随分行き来があって、来るたびにそれをもてなしてということ、徐々に築き上げたところがあるので、この後も、視察でいらっしやったりとかしたときに、先ほどの話と一緒になりますけれども、先につながる手前のことをやっておかないと、どうしてもお祭りで終わってしまうと思うので、向こうのカルチャーを、こちらの市民の方々に紹介しながら、そこでどう交流するかというのは重要だと思います。

聖火リレーのときにはドミニカ共和国とルーマニアの歌を歌わないまでも、何かどこかで機会があった場合、練習しておかないと、いざとなったときにたくさんの人を集めて歌うというのはなかなかできないので、その積み上げがちょっと必要だろなというふうに思いました。

○長江会長

ありがとうございます。尾崎委員、いかがでしょうか。

○尾崎委員

聖火リレーについては、多分IOCとか、そういうところからのいろんな取り決めの枠の中でやられると思うので、いろいろご提案をされて、それがかなうことを願いたいと思います。

それから、こういうミーティングで、こういう冊子に集まると、たくさん情報が見やすいとか、わかりやすいとか、集中しているなというのがあるんですけども、それを市民の目線で見ると、恐らく点在して情報が発信されたりということがありますので、何かその辺、集中的にという言い方がいいのか、切れ目のないという言い方がわかりませんが、その辺をちょっと工夫されるといいのではないかなと感じています。

○長江会長

ありがとうございます。ホームページとかはずっとやられているのですが。

○事務局

ホームページで、今ご報告している活動報告についてもご報告させていただいています。あと、ツイッターも常時上げていまして、12月17日にルートが発表になったという情報を上げましたら、今までになくツイッターのフォロワー数が伸びまして、500件近くにまで今伸びております。関心が強く示されているんだなと思いますし、ただ、情報の提供の仕方はいろいろありますので、さっき言ったポスター幕もそうですが、広報まつの元旦号も載せていただくということで、実は今調整をしております。もう、あと数日で出ますけれども。

先ほど太下委員や西機先生から言われた視点も大変重要なことだと思っております。文化プログラムについても、機会あるごとに担当部署と調整してやっております。

国歌については、実は私もラグビーの試合を見ているときにすごく盛り上がっているのを認識しております。ルーマニアの国歌、ドミニカ共和国の国歌について今後どうしていくか探っていきたいと思っております。両国とも熱情的に歌う国歌なものですから、どのぐらい私たちがマスターして市民の方にできるかなというところもあるので、そこら辺はいろんな方に相談しながらやっていけたらいいかなと思っております。

○長江会長

ありがとうございます。須田委員のほうからは何かございますか。

○須田委員

私もいろんなイベントをたくさんやっているのですが、7月4日に、このルートで、この細い道をずっと聖火ランナーと観客が走ってくることと、あとこのイベントの時間帯を見ると結構大変だなというのが、正直な感想です。それに対して、市の職員も結構総出で

対応していくと思いますが、これはなかなか想像がつかないところがありますね。

○事務局

そうですね。交通規制ですとか、いろいろな安全面の配慮というのが必要になりますので、このルート以外にもちょっと広げて人を配置したりとかしないと、市民の方の事故とかにつながってしまったりするといけませんので、やっていかなくちやいけないと思っております。

千葉県のほうから、交通規制ですとかそういった点についての詳しい情報がまだ来ていないんですが、年内には何とかいただける予定になっておりますので、今、地図をつくって、警察や消防ですとかそういったところと調整を図っていこうと思っております。また、地域の地区長様ですとか、そういうところにもご説明をしたり、また年明けには、市内の町会・自治会の地区長会議という集まりがありますので、そこにも行って周知を図り、まずは知っていただくことが始めの一步だと思っております。

○須田委員

駅前に入る道路がこれだと、駅の西口も東口も全部だめになるので、周りの商店街も含めて説明が必要になりますね。

○事務局

順次解除はしていくそうなんですけど、旧水戸街道とかはずっととめていると、バスとかタクシーが通りますので、ちょっと大変だろうと思っております。

○長江会長

ありがとうございます。安全面についてよろしくお願いします。

佐々木委員のほうから何かございますか。いろんな国際的な大会に出られる前後のイベントとかそういうのもご経験があると思うのですが。

○佐々木委員

今回からの参加なので把握してない部分がちょっと多いかもしれないんですけども、事業計画のところから、この聖火リレーのプログラムもそうなんですけれども、その目的と、誰に向けて、どんな人を集めてやりたいのかというのが、ざっくりやりましたというものが多くて、そのターゲットとして若い子たちに伝えたいのか、家族連れとか、市民をふやすためにやっているのか、そのゴールが明確に見えないなというのは思いました。

セレブレーションの内容については、歌とか太鼓はすばらしいと思うんですけども、その中でターゲットを絞ることで、もうちょっとやれることが見つかるんじゃないかなと感じました。

○長江会長

ありがとうございます。

ちょうど中央公園は文教地区で、小学校とか中学校とか、大学とか、年齢層は子どもから大人までいるんですけども、ただ、このセレブレーションの時間帯は結構夜になるんですよ。

○事務局

夕方ごろになると思われます。その日、浦安から始まって、柏が松戸の前なんですけれども、ちょっと遅くなってきますと、大分暗くなった時間からセレブレーションとかが始まるかもしれません。夏なので真っ暗にはならないと思うんですけれども、7時過ぎになってしまう可能性はあると思っています。

また、暑さ対策がないのはありがたいと思っております。昼間走る地域は、本当に見ている方がばたばたと暑さで倒れちゃうんじゃないかという不安もあるんですが、松戸については夕方なので、花火大会とかそういったのが参考になるのかなとは想像しております。

○須田委員

セレブレーションは一日中やっているわけじゃないんですね。それこそ昼間からやっていたら暑さ対策もしておかないと。

○事務局

基本的に、聖火リレーが来てからやるという形にはなっているそうです。

○長江会長

聖火の交通規制もありますけれども、集まっていた方々の動線とか、様々なことが想定されるので、事故に対しての対応をお願いします。

○事務局

県や警察と打ち合わせしていきたいと思えます。

○長江会長

伊藤委員、いかがですか。

○伊藤委員

私が今お聞きしたかったことは、皆さんが大体お聞きされたのであれなんですけれども、やっぱりこのセレブレーションというか、聖火が到着して最後盛り上がるというか、一番松戸市民にとっても関心のある一大イベントだと思うので、これからどのようなことを行うのか、とりあえず予定で決めていくと思います。それから、最終的にどのぐらいの時間をかけて一体何をやるのか、その枠の周りで一体どういうことがあるのか、その辺のところは、松戸市にとってオリンピック前の最大のイベントだと思います。だから、その辺はちょっと慎重に考えてやらなきゃいけないのかなと思っています。

その関連で一つ心配なのは、中央公園の舞台設定はどういうふうにして、来る人は全く自由に来ていいのか。あるいは集まるのに何か整理券なんかが必要なのかどうか分かりませんが、みんな押しかけるんじゃないか。人数制限をするのかどうかというのがちょっと心配する点です。

○事務局

セレブレーション、また聖火リレーについては、実施主体は千葉県の実行委員会になります。

○伊藤委員

これは市の事業じゃないの。

○事務局

市の事業ではないんです。松戸市で行われるんですけども、実施主体は県。あるいは組織委員会がやるということになっているので、松戸市としては、懸念材料があればそれは確認をしていくということになりますので、今おっしゃっていただいたステージとかは、モバイルステージというような、よく音楽フェスティバルみたいな野外コンサートをやる時に使用している車の上にステージが載っているようなものを、前日に中央公園に設置することになります。それは結構何トンもの大きなものみたいなんですけど、中央公園の入り口からぎりぎり入るような大きなものとなっております。

○伊藤委員

トラックの舞台ですか。

○事務局

結構、市民劇場ぐらいステージがあるようなすごく立派なもの聞いております。やはり聖火リレーですから、今まで私たちが見たことがないようなものが市にやってくるというようなことをお聞きしております。

○伊藤委員

今のところ入場制限はないという感じでイメージしておけばいいですか。

○事務局

公園自体には入場制限はないと思うのですが、ただ、余り混雑してしまうと、将棋倒しになってしまったりというのがありますので、例えばブロックを分けるとかそういったことは必要になってくるのではないかなと考えております。

○須田委員

その想定をしておかないと、相当厳しいかなという場所ですよ。そもそもここにそんなに人数が入らないので、花火大会は通りの方まで全部埋め尽くす。結構、松戸の人ってイベントには来るので、事故のリスクが一番高いと思いますね。

○事務局

ほかの市でいえば、人をどのぐらい呼ぶかというところがあるみたいなんですけれども、松戸市は駅の周辺ですので、そもそも人通りが多いですし、交通の便がすごくいいところになります。そういうところでやりたいという組織委員会の要望もあるので松戸市が選ばれたところもあると思いますが、駅からすぐのところこんな公園があるところもなかなかないので、人が集まりすぎるのではないかなというのが心配な点です。

○須田委員

この時期、梅雨が明けていないので、雨が降る可能性も含めて考えないといけない。

○長江会長

それからオリンピックのチケットがなかなか当たらないから、せめて聖火だけという方々が、かなり早くから集まっちゃうということも十分考えられるので、暑さ対策もね。あと、救急関係のお医者様とか看護師の対応もおこななきゃいけないと思います。

○事務局

壮大なパレードになると思いますので、恐らく柏から松戸に入ってくる時も、6号線

を、市を縦断するみたいな形で通りますので、それを見るだけでもすごいことになるんだと思っております。

○長江会長

それでは、岡本委員いかがでしょうか。

○岡本委員

私は、聖火ランナー・セレブレーションの情報を市民が得たら、やはり相当な人数が見たいという人がいると思うんですね。その辺で、公園の中の広さ、それから聖火ランナーは、その辺で見ることができるんですかね。

○事務局

距離でいいますと、4キロございますので、ほかの市に比べますと長い方なんです。ですから、そこに満遍なく見ていただけるように、どこが空いてますといった情報を伝えていくといいかもしれませんし、また、もちろんNHKさんですとかテレビ局の中継もあると思いますので、聖火リレーは3月から始まるので、始まっている自治体の例も見ながら、どういう対応が一番望ましいか模索しながらやっていきたいと思います。

○岡本委員

本当にこんな機会がいつもあるわけではないですから、市民に大勢参加してもらって、この雰囲気味わってもらいたいと思うので、今言ったように事故の起きないようにしていただきたいと思います。

○長江会長

ありがとうございます。薄葉委員のほうからはございますか。

○薄葉委員

安全性の問題は、これからみんなで考えるということでしょうから、それでそれはしていかないと。

それで、須田委員が言ったみたいに、松戸はちょっとした企画をするとすぐ人が集まるんですよ。千葉県に21の商工会議所がありますけれども、千葉でもいろんな区がそういうことを考えると、ほかで1万人集めるのは大変な知恵と企画とお金を使ってやっているだけけれども、松戸だと、すぐ1万人ぐらい集まっちゃうんです。それは人口密度が高いということもあるでしょうけども、安全性の話は別として、非常に喜んでます。

とにかく、安全性の問題は十分検討して、ここに人がたくさん集まって、松戸はいい町だとみんなに実感してもらいたいなと思います。

○長江会長

むしろ我孫子とか柏から、交通の便のいい松戸に見に来ちゃうということもないとは言えないと思いますね。

ありがとうございます。それこそ本当に、この日だけではなくて、それにつながるというか、その前後の文化的なものを含めた形で、ぜひ盛り上げの部分をよろしく願いたいと思います。まだ時間もありますので、大学もそうですし、近くの小中学校や様々なところと協力してやっていくと、小さな子どもからお年寄りまで、いろんな機会に

ご参加いただけるのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

それでは続きまして、(3)のドミニカ共和国体操連盟事前視察について、実施報告を事務局からよろしくお願いいたします。

(事務局からドミニカ共和国体操連盟事前視察の報告)

○長江会長

ありがとうございます。それでは、尾崎委員から何かございますか。

○尾崎委員

ドミニカ共和国の2人が非常にフレンドリーな、過去に会ったかなというような印象強く残っています。

報告にありましたとおり、オリンピックにはまだ出場できるか未定であるということですが、3月に日本に来ていただいて少し強化練習をするということは、相当代表が決まるところに来ているような選手ではないかと思しますので、ぜひ決めていただいて、この松戸でキャンプしていただくということを我々もぜひ応援したいと思いますし、これだけのものをそろえてほしいということにおいても、いろいろな形でご協力、ご支援できればと思っています。

○長江会長

ありがとうございます。ルーマニアに関しても、事前キャンプというのは具体的にしているんですか。

○事務局

ルーマニアについては、今年5月に陸上の短距離の選手が、来ていただいたんですけども、現在、私どもでルーマニアの選手の状況も調査して把握しているところですが、なかなか苦戦をしているようで、決まった選手が、陸上ですと3名、レスリングは女子で1人、卓球もまだ決まっておられませんし、フェンシングもなかなか難しい、水泳も1人ぐらいということで、恐らく決めてくると思うんですが、まだ、やはり今確定という選手がなかなかいない状況です。でも有望なところに位置してはいらっしゃると思います。卓球も、女子はヨーロッパ選手権で1位なので、恐らく出てこられると思うんですが、なかなか確定がないので、そこら辺の調整が難しい状況にはございます。

協力いただいているルーマニアスポーツ文化交流協会の皆様と先週も打ち合わせをしたんですが、年明けに、また現地のルーマニアのほうとも連絡をとってみたいということで、調整しているところでございます。

○長江会長

先ほどの西機委員の話じゃないですけども、基本としては決まるだろうという想定の中で準備をしておかないと、いざというときに間に合わないという話でありましたし、それから、迎え入れる側のおもてなしとしての文化交流であるとか、さまざまな部分で、いろいろな団体に振っていただくなりして、盛り上げていくことはすごく重要な感じがしますが、国際交流の観点から伊藤委員からご助言とかはございますか。

○伊藤委員

ちょっと質問があるんですけど、そうすると、このドミニカ共和国の体操は、3月にも来られるし、あと本番でも来る可能性が高いということで、ドミニカ共和国については、今のところ3種目だったのが、体操が加わって4種目ということで考えておられるという理解でよろしいですか。

○事務局

そうです。

○伊藤委員

この体操の選手は、先ほどの話だと跳馬の専門の方ですか。

○事務局

そうですね。跳馬の選手になります。

○伊藤委員

個人総合とかそういうのに出るのではなくて、跳馬の専門の方ですか。

○事務局

ほかの大会では、個人総合とかに出ているんですけども、今回のパンアメリカン大会のほうで優勝したのが跳馬の種目という形になります。

○尾崎委員

世界の水準に届いているのがその種目だけなんです。

○伊藤委員

オリンピックの選手として個人総合に出なくても、跳馬だけの個別種目だけで出るということは可能なんですか。

○事務局

種目別ということで可能です。

○伊藤委員

そうなんですか。わかりました。

それから、3月に来られたりとか、また今もいろんな視察に来られて、皆さん、それに関与して文化交流も含めてやっておられるのはいいと思うんですけども、本番の選手の事前キャンプというのは、実際に5月ごろ来るのか6月ごろ来るのかはもちろん分からないし、ただ、オリンピック本番前の選手村に入る直前には当然来るわけですよ。

○事務局

そこのところ、今、伊藤委員がおっしゃっていただいているように、私どもも非常に悩ましいところで、どのぐらいの時期に、どのぐらいの人数の方が来るのかまだ分からない状況です。

○伊藤委員

ただ、事前の5月、6月に来るかどうかもちろんわかんないけども、7月のオリンピックが開幕する直前のというか、1週間か2週間かはちょっとわかりませんが、選手村がオープンしてから皆さん入ってくる。そうすると、来られて、実際の本番が始まるまで

の間は、いわゆる調整期間として事前の調整をするわけですね。そのときに本番と同じような状況下で練習したいというので、それに合わせて場所を提供するのが本来の一番の大きな目的になるわけですね。

○事務局

そうです。やっぱり大会の前に、時差の調整とか、それがすごく大きいそうで、ドミニカ共和国から来て、日本の時間に合うのは5日間ぐらいかかるとおっしゃっていました。ドミニカ共和国とは一昼夜違っちゃっていますので。

○伊藤委員

そうすると個別のそういう練習もさることながら、ドミニカ共和国とルーマニアについては、それぞれ選手が来られた場合、その方々を松戸にお呼びして、壮行会とかを計画しておられると理解してよろしいでしょうか。

○事務局

ただ、アスリートファーストという考えもございますので、選手たちがそこまで余裕があるかどうかというのわからないですが、壮行会とかはやれたらとは思っています。

○伊藤委員

松戸に来ていただくということは考えているんですか。

○事務局

もちろん、松戸に来ていただいて、事前キャンプは松戸で練習をしていただくと考えております。

○伊藤委員

来ていただいて、事前キャンプ以外に何か市長に会っていただくとか、そういう壮行会みたいな、市民の方にも何かするようなことは考えていますが。

○事務局

今、基本的に、この間、体操連盟の方も見えてお聞きしましたら、やっぱり公開練習のように練習を見ていただけるようにするというのが、一番事前の交流としては選手の方々にとっても負担がなく、いいのではないかと考えておりますが、そこら辺も、正直まだ細かいところがわからない部分がございますので、5月に遅くても出場が確定するところなので、そこからまた、いつ来て、どのぐらいの交流とかが可能になるかとか、そういったことを交渉していく形で考えております。

ただ、5月にルーマニアが来てくださって、今回体操連盟も来てくれたので、選手の方々がどういうふうを考えるのかということはお聞きできました。やはりオリンピック前になりますと選手の方々の体調が一番だと思います。

○伊藤委員

そうですね。ただ、せっかくそういう事前キャンプを提供したり、いろんなサポートをしているので、松戸市としてはこういうことをやってほしいという要望は出していったらどうでしょうか。

○事務局

もちろん交流はやってほしいということはお伝えしています。

○伊藤委員

それが明らかになるのは大体5月過ぎということですね。

○事務局

そうだと思います。

○伊藤委員

わかりました。

○事務局

早く決まる競技もあるかと思いますが、バレーボールについては、年明けには決まる予定となっております。

○伊藤委員

ただ、出場が決まったとしても、事前キャンプをどういうふうにするのかとか、あるいは本番の何日ぐらい前に来るのかとか、そんなことはまだ分からないんですよ。

○事務局

あと、IOC自体が、本番の練習を何日前からできるとか、そういった情報をまだ各競技連盟とかに伝わってないようなんです。大体三、四日前には本番のところで練習ができるらしいです。やっぱり本番のところで練習したいというのが、選手たちの一番の望みだと思います。

○伊藤委員

あるいは本番と同じような条件であればということですよ。

○事務局

いろいろな情報を探っているところです。

○長江会長

ありがとうございます。ほかの委員の方々、いかがでしょうか。まだ不確定要素があるということで、なるべく早く情報を、流していただけると大変ありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、最後に次第の3のその他でございますけれども、事務局のほうから、よろしく願いいたします。

(事務局から「パラスポーツを応援しよう！」講演会の報告)

○長江会長

ありがとうございます。流通経済大学の西機先生から何かございますでしょうか。

○西機委員

今年の最初にドミニカ共和国に行ってきた学生2名が、学内で発表したりしていますので、問題なくやってくると思います。

ちなみに、1人は今、青年海外協力隊の隊員に応募して、今試験を受けているところで、もう1人は地力でドミニカ共和国に留学を9月からするというので、もう準備を進

めています。ですから、この2人は非常にこういう機会をいただいて、その先に非常につながったと思います。

これを機会に、先ほどおっしゃられていたターゲットと、その先の目標なんですけれども、さっきの事業の項目が並んでいる中で、もともと4つ柱を方針で立てられていたと思うんですね。その4つの2020年までの計画で書かれているんですけども、21年以降にどういうゴール設定をするのかというのがやっぱりちょっとなくて、この事業もそれぞれの、俗に言うKPIでパフォーマンスをしているのに、それが、結果どういうゴールを目指しているのかというのがもうちょっと、後づけでもいいですから、そういう整理をして示さないと、やったことと成果、その先をどうしたいのかというのが、やっぱりちょっと関わっている我々でも見えていないところがあるので、そこはしていただく必要があるのかなと思います。

もう1点、先ほどの施設の体操のこともそうなんですけれども、施設の拡充のことも4つの中で1個あったと思うんですね。今回、恐らく国際レベルではちょっと足りない状況だと思うんです。実はうちの先生にも相談した結果、筑波大学へ行くか、ナショナルトレーニングセンターに体操協会を通じて使わせてもらうというのが一番本来だったら求めるところを、ここをどうしてもということであれば、その施設を仮につくって、仮にいらっしやなくても、それをどう地元の高校生なり、次世代のアスリートが使うかという計画があれば、別に極端な話、来なくても、そっちのほうが本来の目的だと思います。

今回、BMXやスケボーのような、これから新しいスポーツとなってくるものに、せっかくアスリートの方がいらっしやるのであれば、せっかくの機会なので、それが仮に今回活用仕切れなくても、先のために今回の機会があるので、先のゴール設定を今しなかったら間に合わないんじゃないかなというのをすごく感じます。これはラグビーの時の教訓で、今もすごくラグビーの需要が高まっていますけれども、やっぱり施設とコーチが足らなくて非常に困って、それはずっと言い続けてきたんですけども、やっぱりそれに対して投資もしなかったことであったり、後手後手になっているところがあるので、その問題は今しないと間に合わないんじゃないかなというのをすごく感じます。

○事務局

その点に関しましては、市の中に政策協議というものがあまして、それについては現在協議しています。

○事務局

KPIですとか、今年度もう一度この会議を開催させていただきたいと思っておりますので、それに合わせてここまでの評価を私たちはお示しさせていただいて、またご意見ですとかご指導いただけたらありがたいと思っています。

○長江会長

レガシーが後に続く形でうまく、わかりやすく示していただければ一番というご意見だったと思いますので、よろしくお願ひします。

ほかには皆さんからよろしいでしょうか。

(事務局から松戸ゆかりの選手の現状の報告)

○長江会長

ありがとうございます。そのほかにちょっとお願いがあるんですけども、各大学であるとか、それぞれの部署で、会議場関連で講演会とかいろいろなことがあると思うんです。それを事前に市役所のほうに情報を集めていただいて、また連携でPRしていけたらと思います。

1つは、私ども聖徳大学で、聖徳オープン・アカデミーという生涯学習の学校がありまして、私、校長をさせていただいているんですが、4月18日土曜日の13時から、聖徳大学のホールで、先ほども名前が出たんですが、もとスピードスケートの選手で、聖徳大学の児童学部にはスポーツ健康コースというのが今年から新しくスタートしたんですが、その客員教授で岡崎朋美さんの講演があるんですね。冬のオリンピックの選手ですが、オリンピックか、パラリンピック、あるいはアスリートとしても努力というか、未来に向かって一生懸命努力することに関して、高齢者も含めた生涯学習みたいなところでご講演いただく予定になっております。いろんな大学でもやっていると思いますし、先ほど小学校、中学校とか高校でやっているものを、できるだけ情報を集めて、文化プログラムに含めて、それをまた市民の方に情報発信していただければ、お金のかからない、つながるところでやって、効果が上がってくるんじゃないかと思いますので、お願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○事務局

ありがとうございました。

○長江会長

それでは、最後に、委員の皆様、何か質問とかご意見がありましたら、よろしくお願ひします。

○尾崎委員

例えば前回の東京オリンピックとか、それ以降のリオオリンピックまでの間で、同じ松戸ゆかりの選手は何人もいますか。

○事務局

数名はいらっしゃいます。アーチェリーとかいらっしゃいました。ただ、そんなにはいらっしゃらないです。

○尾崎委員

過去のオリンピック、特に前回の東京オリンピックに出た人を集めたり、そういうイベントとして、東京と東京とが続いているようなことをやっているようなので、これからの目指す選手と、過去そういうところで活躍された選手が、何か場で交流してお会いするとか、そういうのをやってもいいんじゃないかなと思います。

ただ、抜けていると大変なので、きちっと履歴を確認する必要があるんですが、これからイベントは確実にあると思うんですけど、そのイベントがレガシーに残るということ、やはりそういうものが脈々と受け継がれているようなシチュエーションみたいなもの

をつくられてはどうかと感じました。

○事務局

聖徳大学の先生でも、リ्यूージュでオリンピックに出ていらっしゃる方もいらっしゃると思いますし、あと市の職員でも、水泳でオリンピックに出た者がいたりしますので、レガシーをつなげるという意味では、そういう視点ができると思います。

○尾崎委員

極端に言うと、オリンピックに出る選手が決まれば、多分この建物の中のどこかに、そういう写真が出るなり、やると思うんですね。それに加えて、これまでのオリンピックで活躍された松戸ゆかりの選手というのもアピールしてあげるといようなこともできそうな気がしますし、そういうイベントないし告知することがあるはずなので、ちょっと工夫してはどうかと思います。

○事務局

ありがとうございます。

○長江会長

よろしくお願いします。ほかには皆さんからはよろしいですか。

それでは、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局

いろいろアドバイスをいただきましたので、年明け3月末までに、もう一度会議を開催させていただきたいと思いますので、また来年もよろしくお願いいたします。

○長江会長

ありがとうございます。

今回の会議はこれで閉会させていただきます。長時間、本当にありがとうございます。次回の日程は、決まり次第、皆様方の日程調整をさせていただいて、通知をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。お疲れさまでした。